



台風10号で実感・防災意識

8月の末、天気予報では連日、台風10号上陸の予想が流れていました。全国手話サークル情報交換のグループLINEでは、上陸の知らせや心配の声、役立つ情報の共有などが行われました。以前の豪雨被害をきっかけに、避難体制や福祉避難所の運営について改善した結果、今回スムーズに体制を整える事が出来たなど、様々な問題を見過ごさずに取り組む事の意義を感じました。



千葉県内での災害発生の際にも、お互いが助け合える仕組みが作れると良いなと強く感じました。県サ連にできそうなこと。何かお知恵がありましたら、ご意見お待ちしております。

手話を考えるフォーラム 2024 お申し込みはお済みでしょうか？



今年の手話を考えるフォーラムは、全体テーマとして「防災」が掲げられているね。県サ連が担当する第2分科会でも、「防災・減災のために手話サークル員として何が出来る？」をテーマに、県サ連が作成した防災カルタや防災減災ノートを使って学ぶ内容を企画しています。実際に大きな台風に襲われた地域の方の声をもとに、手話が上手じゃなくても手話サークル員だからこそできる何かを、みんなで一緒に探していこう！



- ☆第1分科会では「BCP 対策」
 - ☆第3分科会では「防災の手話・避難時の意思疎通は？」
 - ☆第4分科会では「災害時に聞こえない人が安心できるには」
- ★詳しくは、8月21日に配信された県サ連一斉メールを見てね！

サークル紹介

特集21号
北総ブロック
流山市
さつきの会
の巻～♪



流山市にある3サークルのうち、「さつきの会」が一番古く設立は昭和51年(1976年)です。ろう者と一緒に様々な活動を続けて2年後に50周年を迎えます。平成19年には緑綬褒章をいただきました。今は50周年に向け、サークル内バザーなどやり資金集めして準備を進めています。一口に50年と言っても半世紀！すごいですよね。今、この長い歴史あるサークルの一員であることを誇りに思います。

現在会員は約30人近くおり、毎週火曜日1時から3時までおもに初石公民館で例会を行っています。

コロナの時も公民館が開いている時は人数制限と健康チェックをして細心の注意を払いながら例会は休まずに活動をしていました。マスクには悩まされ、透明のマスクを手作りして、何とか口の形を見るために工夫しました。今は人数制限がないので毎回20人位のサークル員が集まります。

例会は全員が参加できるように工夫し、毎回二人ずつ持ち回りで担当しています。内容はろう者による手話教室 グループトーク、手話ゲーム 情報交換など。

「例会中は声を出さずに手を動かすように」をモットーに 全員が一度は手話を使うようにしています。

例会後も、希望者がお茶などしてろう者と交流を。第3火曜日は例会後その部屋でお茶会をします。あちらこちらで会話が弾み手話の上達にもつながっています。



年間の行事としては野外活動、公民館発表会 市民祭り お楽しみ会等の参加です。野外活動は担当者が計画をして毎年工場見学 施設見学 地域散策など様々な場所に行きます。部屋の中とは違い、外の同じ景色を見ながら手話での会話は一味違います。

初石公民館発表会では舞台上で手話コーラスを発表します。皆で一緒に曲の選曲し、ろう者と歌詞の意味をくみ取りながら、何度も何度も話し合っ手話表現を決めていきます。数ヶ月間練習を重ねて臨む本番では、お客様も一緒になって手を動かしてくれるので会場が一体となり盛り上がり毎年好評です。今年は東京2025デフリンピックに合わせ「しゅわしゅわデフリンピック」を1曲やり、全部で3曲発表する予定で、10月の発表会に向け今一生懸命練習をしています。



他に、デフに依頼がある市の出前講座 小学校の手話教室 専門学校の手話指導などにも積極的に協力し、手話言語条例に基づき「手話は言語である」ことを、講座や教室を通じて多くの方々への普及に務めています。これからも例会の進め方等色々工夫しながら、多くのろう者に参加してもらいお互い協力しながら充実した楽しいサークル活動ができればと願っています。そしてこの長い歴史あるさつきの会が新しい会員に繋がり、そしてまたもっともっと長く続きますように願います。

—おまけ—

普及活動の一つとして、ろう者が地域の人達との交流、普及の場所として手話カフェを開きたいとのことで各サークルのサークル員と協力しながら話し合いを重ねた結果、ついに昨年の秋に、場所は流山市東深井にある森の倶楽部に「森の手話カフェ」がオープンいたしました。月に4回ですが、ろう者とサークル員 地域の人達の交流の場になっています。是非皆さん行ってみてください。珈琲の他ランチ デザートもありますよ。



第3回役員会議7月28日開催 船橋フェイスビル 地域活動サポートセンターにて
定期総会、学習会総括、令和6年度分担金の集金、分担金上限撤廃について、かわら版について、手話を考えるフォーラム第2分科会について、デフリンピックセタイベントについて 他

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久